

団体名	財団法人暴力追放三重県民センター
-----	------------------

## 【経営基本情報】

### 団体の基本情報

所在地	津市栄町三丁目222番地		
HPアドレス	http://www.boutsui-mie.or.jp		
電話番号	059-229-2140	FAX番号	059-229-6900
設立年月日	平成4年3月31日		
代表者	理事長 渡部 邦夫	県所管部等	警察本部
県出資額	738,100,000	県出資割合	69.8 %
団体の目的	暴力団による不当な行為を予防するための広報活動等を推進し、暴力団による不当な行為についての相談事業を行うとともに、暴力団による不当な行為の被害者の救援を行うこと等により、暴力団員による不当な行為の防止及びこれによる被害の救済を図ることを目的とする。		

### 主な事業内容

#### [事業規模(事業費)]

(単位:千円)

事業名	平成18年度	平成19年度	平成20年度	備考
(1) 暴力相談活動	10,571	12,507	12,921	
全事業合計に占める割合	61.2%	66.8%	65.1%	
(2) 広報啓発活動	2,096	3,027	3,486	
全事業合計に占める割合	12.1%	16.2%	17.6%	
(3) 責任者講習活動	1,597	1,608	1,599	
全事業合計に占める割合	9.3%	8.6%	8.1%	
(4) (1)～(3)以外の事業	2,995	1,571	1,830	
全事業合計に占める割合	17.4%	8.4%	9.2%	
全事業合計	17,259	18,713	19,836	
全事業合計に占める割合	100.0%	100.0%	100.0%	

#### [事業の概要]

- センターにおける常設暴力相談156件の実施、巡回無料法律相談の実施等
- 機関誌等による広報啓発活動、暴力追放運動の意識高揚のための普及宣伝活動、暴力追放三重県民大会の開催等
- 不当要求防止責任者講習の実施、企業や事業所に対する不当要求防止責任者の選任の促進及び講習受講者の勸奨
- 地域・職域暴力団排除組織の支援活動、保護・救済活動、情報収集・調査研究活動等

#### 役職員の状況

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	備考
常勤役員	1人	1人	1人	
うち、県退職者	1人	1人	1人	H20平均年齢 : - 歳
うち、県派遣	0人	0人	0人	H20平均年収 : 法人の給与規定による
常勤正規職員	2人	3人	3人	
うち、県退職者	1人	2人	2人	H20平均年齢 : 61.5 歳
うち、県派遣	1人	1人	1人	H20平均年収 : 4,087 千円
その他職員	1人	1人	1人	業務補助職員1名
うち、県退職者	0人	0人	0人	

派遣職員は含まない

団体名	財団法人暴力追放三重県民センター
-----	------------------

○財務概況

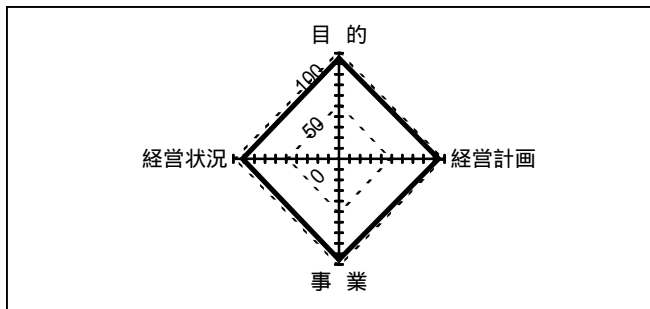
		(単位:千円)	平成18年度	平成19年度	平成20年度
正味財産増減計算書	経常収益	基本財産運用益	21,912	23,620	23,620
		受託事業収益	2,589	2,458	2,544
		受取補助金・助成金	0	0	0
		自己収益	4,635	5,070	4,920
		その他収益	0	0	0
		計 (a)	29,136	31,148	31,084
	経常費用	事業費	17,259	18,713	19,836
		管理費	10,081	10,566	10,444
		計 (b)	27,340	29,279	30,280
		当期経常増減額 (c) = (a) - (b)	1,796	1,869	804
	経常外収益 (d)	0	0	0	
	経常外費用 (e)	0	0	0	
	当期経常外増減額 (f) = (d) - (e)	0	0	0	
	当期一般正味財産増減額 (g) = (c) + (f)	1,796	1,869	804	
	当期指定正味財産増減額 (h)	0	0	0	
	当期正味財産増減額合計 (g) + (h)	1,796	1,869	804	
貸借対照表	資産	流動資産	16,662	18,519	19,293
		固定資産	1,060,606	1,060,606	1,060,606
		計	1,077,268	1,079,125	1,079,899
	負債	流動負債	245	233	203
		固定負債	0	0	0
		計 (i)	245	233	203
	指定正味財産 (うち、基本財産への充当額)	(j)	1,058,100	1,058,100	1,058,100
	一般正味財産 (うち、基本財産への充当額)	(k)	0	0	0
		正味財産合計 (l) = (j) + (k)	1,077,023	1,078,892	1,079,696
		負債・正味財産合計 (i) + (l)	1,077,268	1,079,125	1,079,899

主な指標	正味財産比率	正味財産 / (負債 + 正味財産)	100.0%	100.0%	100.0%
	借入金依存率	借入金 / (負債 + 正味財産)	0.0%	0.0%	0.0%
	基本財産運用利率	基本財産運用益 / 基本財産	2.1%	2.2%	2.2%
	自己収益比率	自己収益 / (経常費用 - 受託事業費)	18.7%	18.9%	17.7%
	当期経常増減率	当期経常増減額 / 経常収益	6.2%	6.0%	2.6%
	総資産当期経常増減率	当期経常増減額 / (負債 + 正味財産)	0.2%	0.2%	0.1%
	人件費比率	人件費 / 経常費用	61.7%	66.9%	66.2%
	管理費比率	管理費 / 経常費用	36.9%	36.1%	34.5%

県からの財政的支援等	委託料	千円	2,589	2,458	2,544	
	補助金・助成金	千円	0	0	0	
	負担金	千円	0	0	0	
	借入金(期中に借り入れた額の合計)	千円	0	0	0	
	その他県支出金(追加出資額等)	千円	0	0	0	
		計	千円	2,589	2,458	2,544
		借入金残高(期末残高)	千円	0	0	0
		債務保証額(期末残高)	千円	0	0	0
		損失補償限度額	千円	0	0	0
		損失補償契約に係る債務残高(期末残高)	千円	0	0	0

団体名	財団法人暴力追放三重県民センター
-----	------------------

### 【団体自己評価結果】



	18年度		19年度		20年度	
	比率	評価	比率	評価	比率	評価
目的	95	A	90	A	95	A
経営計画	89	B	89	B	94	A
事業	96	A	96	A	96	A
経営状況	87	B	91	A	91	A

A(90%～100%):良好な事象や傾向がみられる  
C(30%～59%):改善を要する

B(60%～89%):やや良好な事象や傾向がみられる  
D(0%～29%):大いに改善を要する

### 【団体自己評価コメント】

平成20年度コメント	
目的	暴力団の資金源活動は、社会経済情勢の変化に応じて巧妙かつ多様化しており、センターの設立目的は現在において、更にその必要性が増している。
経営計画	財政基盤の確立を中期目標の一つとして掲げ、寄附金・賛助金の拡充に努めたところ、実績は昨年度を下回ったものの数値目標は達成するとともに新規賛助会員の開拓などにより継続的な収入が期待できる賛助金は増収となり、賛助会員数も増加した。また、運用先有価債券の満期保有により安定した基本財産の運用により事業規模に見合う収入を確保した。
事業	昨年度、達成できなかった不当要求防止責任者講習の数値目標をほぼ達成した。暴力相談では、相談内容に応じて民暴弁護士や警察と連携し適切に対応した。また、不当要求等の被害を防止するため広報啓発資料を作成配布したほか、ホームページへの掲載など、設立目的に沿った事業活動を確実に実施して、センターの認知度の向上を図っている。
経営状況	県からの収入は、受託事業である不当要求防止責任者講習に係る委託料のみで、補助金等は受けていない。経常収益は、当期経常増減額が、3年連続プラスとなっており安定した経営を行っている。

総括コメント	当センターは、暴力団排除意識の高揚や排除要領を周知させるための広報啓発活動をはじめ、民事介入暴力など暴力団に関わる各種事案に関する相談活動、不当要求防止責任者講習等の事業を着実に推進した。 引き続き、財政基盤の確立及び暴追センター認知度の高揚等中期目標の達成に向け、寄附金・賛助金の拡充や広報啓発活動をはじめとする各種事業の拡充等を図るほか、今後は新公益法人制度への移行を見据えた組織体制等の見直しに取り組むこととしている。
--------	---

### 【団体の達成目標】

年次事業計画による達成目標  
(定性目標)

平成20年度目標	財政基盤を確立するため、寄附金・賛助金の拡充に努めるほか、ホームページや機関誌等の内容を拡充する等センターの各種活動を充実させ、センターの認知度の向上を図っていく。
平成20年度実績	寄附金・賛助金の拡充に努めた結果、数値目標を達成し、経営状況の健全化が図られたほか、各種被害の防止に向けた広報資料の作成配布やホームページへの掲載など事業の充実を図り、センターの認知度の向上に努めた。
平成21年度目標	財政基盤を確立するため、寄附金・賛助金の拡充に努めるほか、ホームページや機関誌等の内容を拡充する等センターの各種活動を充実させ、センターの認知度の向上を図っていく。

(定量目標)

指標	数値目標	単位		平成19年度	平成20年度	平成21年度
寄附金・賛助金収入	400	万円	目標	400	400	400
			実績	507	492	
不当要求防止責任者講習	1,250	人	目標	1,250	1,250	1,250
			実績	1,205	1,247	
			目標			
			実績			

中長期計画による達成目標

センターの現状から、引き続き「財政基盤の確立」と「センターの認知度の向上」を中期目標として掲げ、各々の目標達成に向けた施策である「寄附金・賛助金の拡充」や「ホームページ、機関誌等の内容充実」等に努める。

団体名	財団法人暴力追放三重県民センター
-----	------------------

### 【知事等の審査及び評価結果】

+ : 団体自己評価結果に比べて高く評価(良好な点が認められる)  
 - : 団体自己評価結果に比べて低く評価(課題が認められる)  
 空白: 団体自己評価結果と概ね同じ評価

	18年度	19年度	20年度	20年度コメント
目的				暴力団は、資金獲得活動を多様化し、組織実態及び活動形態を不透明化する動きを強める等の傾向にあることから、暴力団による不当な行為を防止し、被害の救済等を目的とするセンターの活動に対する社会の要請は年々高まっている。
経営計画				関係機関、団体に広報資料の「不当要求対応マニュアル」を配付する等、センター認知度の高揚に努めた結果、財政基盤の一つである寄付金・賛助金収入が数値目標を約90万円上回る成果を挙げており、今後も公益的な事業の充実により自己収益を増加させ、経営の安定化を図る必要がある。
事業				不当要求防止責任者講習内容の充実、広報資料の配布等、県民から信頼されるセンター活動の充実に努めた。また、前年度達成できなかった不当要求防止責任者講習の年間目標数については、ほぼ達成することが出来、今後も定期的に受講者数を把握しながら積極的に実施し、確実な成果を挙げる必要がある。
経営状況				基本財産を適正かつ安全に運用するとともに、寄付金・賛助金の拡充に努めた結果、当期経常増減額が3年連続して増益となっていることから、経営状況は良好である。

### (知事等の総括コメント)

暴力団員のいない安全で安心な地域社会を実現するために、警察や弁護士等と連携しながら、暴力団排除活動を推進したほか、不当要求防止責任者講習の受講者数は、目標数値をほぼ達成し、また、相談業務等の各種事業で着実に実績を挙げるなど、公益性の高い事業を展開している。

センター運営資金の一つである寄付金・賛助金収入は、前年度を下回っているものの、新規賛助会員の獲得により継続的な収入を確保するなど、経営状況は良好である。引き続き、安定した財政基盤の維持に努められたい。

今後とも、県民のニーズに即した事業を積極的に展開し、県民に暴力団のいない安全で安心な地域社会の実現に貢献することを求める。